

みんなで命と笑顔を守ろう

岡崎市立城南小学校 6年 川上 昂

僕は、通学団の班長をやっています。班長になって、登下校中の危険なことに気にするようになってから、気付いたことが沢山あります。

まず、毎朝、旗当番の人達が安全に交差点を渡れるように必ず見守ってくれていることです。僕は正直、なんで立っているんだろうと思っていました。なぜなら、僕たちの周りでは、よっぽど事故なんて起こらないと思っていたからです。でも、母の話を聞いて、僕の考えは大きく変わりました。

僕が小学校に入るずっと前、同じ交差点で通学団の列に曲がってきた車にぶつかってしまったそうです。大きなケガではなかったそうですが、とても怖いと思いました。その話を聞いて、旗当番の必要な理由が改めてわかりました。

そのことから、僕は実際に周りを見る目を変えました。例えば、風の強い雨の日に、低学年の子の傘が飛びそうになったことが何回かありました。道路側に行ってしまうのではないか、傘が折れるのではないか、とてもヒヤヒヤしたこともありました。また、細い道では、すれ違いに自転車に当たってしまいそうで大丈夫かなと心配することもありました。実際、僕が自転車で走っている時、カゴの中に荷物が乗っていて、ハンドルがうまく動かなくて倒れたことがあります。たまたま車が来なかったけれど、もし車が来ていたと思うとゾッとします。このような経験から僕は常に周りをきちんと見て、危ないと思ったら、自分からみんなに伝えるように声を必ずかけるようにしています。

また、以前ニュースで、青信号で自転車で渡っていた親子が、ブレーキとアクセルを踏み間違えたことで、高齢者の運転する車に轢かれて亡くなってしまったニュースを見ました。正しく交通ルールを守っていてもこのような悲しい事故は起こってしまいます。だからこそ、どんなに安全でも、しっかり周りに注意をはらって自分で自分の命を守ることが大切だと思いました。

交通安全は、小さなことから大きなことまであります。僕が声をかけているのはまだ小さいことかも知れませんが、でも、一人一人が交通安全に対して、しっかり意識をして気を付けていけば交通事故なども減っていくと思います。

最後に、僕が交通安全の中で大事にしたいことは、「予測する」「周りをよく見る」「自分で考えて行動する」です。この3つを心がけて、班長として今僕ができることを頑張っていきたいです。

